

インドにおける食品包装機械市場の マーケットレポート

2023年2月

Contents

1	インド- 世界第5位の経済大国	03
2	インドの包装市場	04
3	主要ユーザー業界- 食品加工分野	05
4	インドにおける食品包装機械市場の概要	06
5	食品包装機械市場の主要なプレーヤー	14
6	食品包装機械類輸入関税	20

インド- 世界第5位の経済大国



* For the period of Apr'00-Jun'22) # As of Jan'23

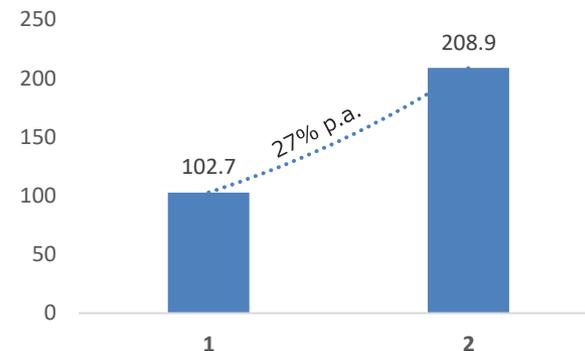
Source: Data published by RBI, India Brand Equity Foundation billion - bn., million - mn., trillion - tn. USD=INR 80.

インドの包装市場

市場規模・成長性

- 包装市場はインドの製造業で自動車・ヘルスケア・不動産・日用品（順不同）に次いで5番目に大きな産業であり、最も成長率の高い分野の1つである
- 2022年、インドの包装市場規模は約1,020億ドルと評価され、2025年には2,080億ドルに達すると予想され、年間平均成長率は27%に近いと予想されている
- インドでは、加工食品や日用品、インターネット通販の売上が伸びていることが、この市場の成長を後押ししている
- 「Make in India」や「Production Linked Incentives」、「Mega Food Parks」などの数々の政府の取り組みが、包装市場全体に好影響を及ぼしている
- インドで最も急成長している包装市場の分野は、PETと織布サックを含む軟包装である

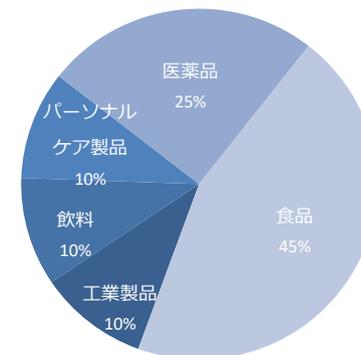
市場規模
(単位：十億ドル)



分野別構成比

- インドの食品分野は459億ドル、包装市場全体の45%、飲料部門は102億ドル、包装市場全体の10%に達し、包装市場における最大のシェアを占めている
- 製薬業界は255億ドル、25%を占め、包装市場全体の第3位のシェアである
- その他、包装分野全体で大きな割合を占める主要分野は、パーソナルケアと工業製品であった

包装市場における分野別構成比



主要ユーザー業界-食品加工分野

- インドの食品加工部門は世界最大級の規模であり、2025-26年には5,350億ドルに達すると予想される
- インドの食品加工産業の主なセグメントは、果物・野菜、肉、魚介類、調理済み食品、乳製品などである
- インドにおける食品加工分野の主な成長要因は以下の通りである
 - 消費パターンや消費者嗜好の変化
 - 生活水準の向上
 - 健康的で包装がしっかりした食品への関心
 - すべての分野での食品包装の標準化
 - 食品包装に関する規制の厳格化
 - バラ売りの食品から包装された食品への変化
 - 包装されたスナック菓子の需要の増加
- さらに、メガフードパーク、物流ハブ、コールドチェーンに対するインセンティブ、「Make in India」、「Production Linked Incentives」などの政府の取り組みが、この分野の成長にさらなる弾みをつけている

主要な企業

- 海外企業
 - Nestlé
 - PepsiCo
 - Hindustan Unilever
 - Ferrero
- インド企業
 - GlaxoSmithKline
 - Haldiram Foods
 - Balaji Wafers
 - Britannia Industries
 - Patanjali
 - Dabur
 - Gits Food Products
 - ITC Foods
 - Kwalitiy
 - ParleAgro
 - Amul
 - Kissan

インドにおける食品包装機械市場の概要

インドにおける食品包装機械分野

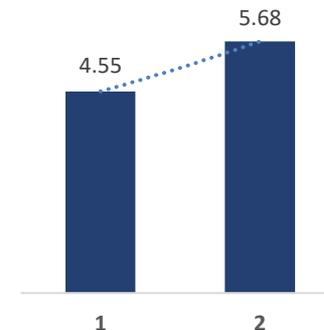
市場規模・成長性

- 2022年、インドの包装機械市場全体は45億5,000万ドルに達した
- 2022年から2027年までの年間平均成長率は4.54%で、2027年には56億8,000万ドルに達すると予想されている
- 食品包装機械は包装機械分野全体の45%~50%を占め、2022年には20億~22億米ドルに達する見込みである
- インドの食品包装機械市場は、2027年までに30億ドル近くに達すると予想されている
- インドにおける食品包装機械分野の主な成長要因は以下の通りである
 - 食品衛生に関する意識の高まり
 - メーカーに対する政府の規制強化
 - パッケージ食品・コンビニエンス・フードの消費量の増加
 - 大手食品加工メーカーによる自動化への投資

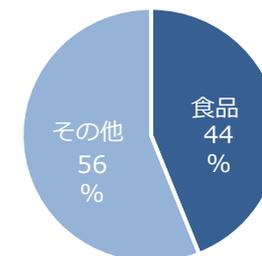
市場構造

- インドの食品包装機械市場の特徴は、多数の小規模メーカー、少数の大規模メーカー、そして国際的なメーカーが存在することである
- これらの食品包装機械メーカーは主にムンバイ、デリー、ファリダバード、バンガロール、プネ、ハイデラバード、チェンナイなどの都市部に集積している
- インドには700以上の包装機械サプライヤー（メーカー、輸入業者、代理店）が存在している

インドの包装機械市場全体
(単位: 十億ドル)



包装機械の部門別市場構成比



組織化された食品包装機械メーカー

- 衛生意識の高まり、食品加工企業の自動化に向けての取り組み、組織的な工場設備と自動化を必要とする今後の大型プロジェクトなど、組織化された機械メーカーは未組織の企業に比べ優位に立つと考えられる
- 組織化された機械メーカーは、未組織のメーカーと比較してより高い成長率を実現することが予測される
- これらのメーカーの多くは、ムンバイやデリーなどの都市に本社を置き、乳製品、菓子、製菓、飲料、ソース、ジャム、スナック、調理済み製品など、さまざまな分野で大・中規模の食品加工企業に製品を供給している
- インド企業は家族経営が多く、プロフェッショナルな経営をしている一方で、海外メーカーは現地法人や合弁会社、現地代理店を通じて進出している

組織化された食品包装機械メーカーの特徴

▪ 大企業（インド・海外企業）

海外企業は、現地代理店を通じて、あるいは自社の現地法人を通じて進出している。また、これらの企業の中には、インドで製造や組み立てを行うために合弁会社を設立しているところもある

▪ インド全土に広がる拠点

組織的な企業は、本社、営業所、常駐のサービスエンジニア、サービスセンターを通じて、インド全土に拠点を置いている

▪ 先進技術

インドの製造業の多くは、2世代にわたってビジネスを展開している。これらの企業は、市場に参入する海外企業に対抗するため、人工知能（AI）やロボティクスを搭載した高速かつ自動化された機械技術の開発・導入に投資している

▪ 信頼性・付加価値・アフターサービス

組織化された機械メーカーは、インドで部分的または完全な食品包装機械を製造している。アフターサービスを提供するとともにに価格競争力のある低コストで信頼性の高い機械を提供することを可能にしている

小規模な食品包装機械メーカー

- 小規模な製造メーカーは、小規模な個人事業や協働の会社であり、設立や税務上の手続きは最低限で済む
- 製造業者の多くは、特定の地域に集中している
 - ファリダバード
 - ハリヤナ州のファリダバードを拠点とする約200-250の中小企業は、包装機械のメーカーであり、これらの企業は、安価で低品質なPLC - HMI技術の機械を提供している
 - ウラハスナガル
 - ビスケット包装機に関わる約500の中小企業は、マハーラシュートラ州のウラハスナガルに集中している

小規模な食品包装機械 メーカーの特徴

- **中小企業**
これらの企業は、約1000平方フィートの小さな倉庫で、契約労働者に依存した経営がされている。これらの企業は、コンプライアンス、品質チェック、アフターサービスが不十分である場合が多い
- **地域企業**
近隣の市場の小規模な企業にサービスを提供する企業
- **非常に安価で低速な包装機械**
これらの未組織のメーカーは、非常に安価で低速な包装工程/包装機械を提供している
- **機械寿命の不安**
未組織の製造メーカーは、最低限の設備しか持たず、生産コストや人件費も安いと、機械の寿命に保証がない
- **不十分なアフターサービス**
未組織の機械メーカーには、迅速かつ信頼性の高いアフターサービスを提供するための体制が整っていないことがよくある

成長要因

労働力不足

- これまで、インドの包装はほとんどが手作業か半自動だった。たとえば大企業でさえ雇用を確保するために包装のために労働者を雇っていた
- しかし、徐々に労働力の確保が難しくなり、包装の自動化の必要性に迫られている

包装食品の需要増

- 多忙なライフスタイル、働く女性、核家族化は、加工食品、特に包装された調理済み製品の消費に大きなプラスの影響を与え、それが包装機械の需要を促進している
- さらに、可処分所得と生活水準の向上は、高級食品への需要を生み出し、より良い包装への需要に繋がっている

世界標準のパッケージング

- インドの消費者が世界標準の食品包装に触れるようになったこと、国際的な食品メーカーがインドに進出したことで、インドの大手食品メーカーも競争に勝つために包装に先端技術を投資することを計画している

その他の要因

- インドおよび外国企業による食品加工設備への投資
- 食品衛生に対する意識の高まり
- 道路網の整備によるサプライチェーンの改善

インドにおける課題

初期投資と労働者のコストを比較する傾向

- インドでは、賃金が上昇しているとはいえ、手作業による労働力はまだ比較的安価である。そのため、生産量の少ない中小企業では、手作業で包装を行う人を雇っている
- そのため、包装機械への設備導入コストと日々の人件費を比較される傾向がある

中国・台湾勢との競争

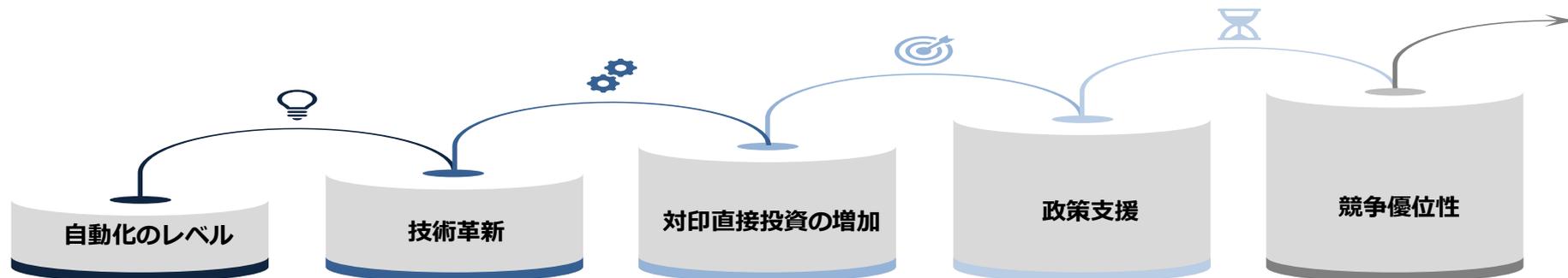
- インドでは、低価格の中国製や台湾製の機械が輸入されており、競争が激しくなっている
- 中国・台湾メーカーが提供するアフターサービスは充実しておらず、購入者の満足度はあまり高くない

より安価な現地の代替品

- インド現地のメーカーは、国際的な大手企業に比べ、低価格で包装機械を販売している。
- 機械の信頼性、アフターサービスの質が問題

細分化したエンドユーザー層

- 全自動の大型機械に投資する大手食品加工会社とは異なり、中小企業は、より少ない投資で済む小型の半自動機械を選ぶ
- これらの機械は通常、地域の小規模な機械メーカーから購入される



- 熟練労働者のコスト削減、労働者の安全性の問題から、食品加工企業は工場の包装工程の自動化に投資する決定を徐々に下している

- 海外だけでなく、インドの大手機械メーカーも、新しい機械ラインの開発、高速化、自動化のための新技術開発に投資している
- これは研究開発、あるいは外国企業との技術ライセンスや合併事業によって実現される

- インドは2021-22年に年間外国直接投資流入額が過去最高の848億ドルを記録した
- インドに製造施設を置く外資系企業が増えており、包装だけでなく加工用の大型自動機にも需要が生まれるだろう

- 「Make in India」「Production Linked Incentives」、食品包装基準の強化などの政府の政策支援により、投資が拡大し、その結果、新しい技術の需要が高まり、業界内での競争が加速することが予想される

- 労働コストや生産コストは上昇傾向にあるが、それでもインドは欧米諸国と比較して相対的にコスト競争力がある
- さらに、インドには若い有能な労働力、相対的に安価な原材料、そして国内の大きな消費者市場が存在している

インドおよび外国企業による投資

Nichrome India Ltd



インドの大手包装機械メーカーであるNichrome Indiaは、スペインのTOTPACK Solutionsと2021年に技術提携し、国内外に競争力のある価格で水平型フォームフィルシール機を製造・販売することを決定した。

また、Nichromeは国際的な企業と代理店契約を結んでおり、Nichromeが提供する機械と補完的な関係にある企業の機械をマーケティング、販売している。

RND Automation



2018年2月、RND Automation & Engineering, LLCは、水平および垂直のフォーム、充填、およびシール包装機械、ロールストック熱成形機とトレイシーラーのメーカーであるMDC Packaging Machineryの技術を取得した。

RNDとMDCは現在、広範囲の包装機械を提供している。

Pakona Engineers India Pvt Ltd



インドの大手企業であるPakona Engineers India Pvt Ltdは、独自の技術開発に投資するとともに、海外企業と合併会社を設立し、包装機械を組み立ててインド市場で販売している。

Multivac Germany



Multivac Laron India Pvt Ltdは、Multivac GermanyとLaron Indiaの合併会社である。Multivacは食品、医療、消費者、工業用製品を包装業界向けに総合的に提供している。Laron Packaging Company は、産業用および技術用カスタム包装を専門に扱っている。

Rovema Gmbh



ドイツに本拠を置くRovemaは、2020年にブネーのHassia Packagingを買収した。Hassia は以前はIMA グループの一員だった。

Hassia は粉ミルクを含む固形物の縦型成形・充填・シール機を製造している。粉ミルクを含む固形物の縦型成形・充填・シール機を製造している。また、小袋のマルチレーン包装ラインも製造している。

インドにおける食品包装機械市場の 主要プレイヤー

インド国内メーカー

会社名	: Nichrome Packaging Solutions India Ltd.
原産国	: インド
設立年	: 1977
会社形態	: Private Limited Company
使用対象	: 食品、医薬品、非食品
プロダクト	: <ul style="list-style-type: none"> ▪ VFFS Series - Vertical Form Fill Seal ▪ HFFS Series - Horizontal Form Fill Seal Machines ▪ MAP Tray Sealing Machine



会社名	: Shrijeta Global
原産国	: インド
設立年	: 2015
会社形態	: 合併会社
使用対象	: 乳製品、食品、飲料
プロダクト	: <ul style="list-style-type: none"> ▪ Collar-type Auger Filler Packaging Machine ▪ Lined Carton Machine ▪ Multitrack Liquid Sachet Packaging Machine



インド国内メーカー

会社名	: Sunpack Group Solution Pvt Ltd	
原産国	: インド	
設立年	: 2003	
会社形態	: Private Limited Company	
使用対象	: 食品加工、農薬、医薬品	
プロダクト	<ul style="list-style-type: none"> : ■ AFFS Machine Liquid - Form Fill Seal (FFS) Machines : ■ AFFS Machine Powder Granules - Form Fill Seal (FFS) Machines 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Powder Auger Filler Machine ■ Multi Head Collar Type Packing Machines ■ Multitrack Pouch Packing Machine ■ Line Carton Machine - Spices Tea



会社名	: Starpac India Ltd	
原産国	: インド	
設立年	: 1996	
会社形態	: Private Limited Company	
使用対象	: 飲料、化学品、乳製品、食品加熱・冷却	
プロダクト	<ul style="list-style-type: none"> : ■ Single Lane Intermittent Motion Baggers Vertical Form Fill And Seal : ■ Multilane Intermittent Motion Baggers : ■ Pick Fill Seal And Horizontal Form Fill And Seal : ■ Flow Wrappers 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Standalone Fillers ■ Jar Fill And Seal ■ Standalone Fillers



インド国内メーカー

会社名	: Dopack Engineers Pvt Ltd	
原産国	: インド	
設立年	: 2012	
会社形態	: Private Limited Company	
使用対象	: 加工食品を含む食品	
プロダクト	<ul style="list-style-type: none"> : ■ Multihead Packaging Machine ■ Semi-Pneumatic Machine ■ High-Speed Collar Machine 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Flow wrap Packing Machine ■ Tea Packaging Machine ■ Multihead Weigher Packing Machine



会社名	: Smart Pack India Pvt Ltd	
原産国	: インド	
設立年	: 1998	
会社形態	: Private Limited Company	
使用対象	: 食品、乳製品、飲料、冷凍食品	
プロダクト	<ul style="list-style-type: none"> : ■ Vertical Band Sealing Machine ■ Horizontal Band Sealing Machine ■ Vertical Sealer With Nitrogen Flush ■ Foot Sealing Machine Hot Bar Type ■ Sealing Machine 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Band Sealing Machine ■ Bag Closing Machine ■ Strapping Machine ■ Carton Sealer



海外メーカー

会社名	: Buhler India Pvt Ltd
原産国	: スイス
設立年	: 1991
会社形態	: 現地法人
使用対象	: 動物飼料、水産飼料、アジア麺、焼き菓子、朝食用シリアル、チョコレート、コーヒー、菓子・スナック、乳製品、ドライフルーツ・野菜、ナッツ、油脂、パスタ、ペットフード、豆類・スパイスなどの食料品
プロダクト	: ■ CHRONOS OML-1060B



会社名	: GEA Engineering Pvt Ltd
原産国	: ドイツ
設立年	: 1992
会社形態	: 現地法人
使用対象	: 食品、飲料、乳製品
プロダクト	: ■ Filling Machine Solutions ■ Aseptic Fillers and Rotary Fillers ■ Closer Machine Solution ■ SeamTec, Can Closer X-52 & X-59 ■ TwinTec Filler & Closer



海外メーカー

会社名	: John Bean Technologies India Pvt Ltd
原産国	: アメリカ
設立年	: 2009
会社形態	: 現地法人
使用対象	: 菓子、パン・パスタ、コーヒー・紅茶、乳製品・乳製品代替品、生鮮青果 果物、ナッツ類、ジュース、飲料、非食品、ペットフード、医薬品、鶏肉、肉・魚介類、油、スープ、ソース、調味料・ドレッシング
プロダクト	: <ul style="list-style-type: none"> ▪ Filling Machine Solutions: Aseptic Fillers and Rotary Fillers ▪ Closer Machine Solution : Seam Tec, Can Closer X-52 & X-59 and Twin Tec Filler & closer



会社名	: IMA Packaging Technology India Pvt Ltd
原産国	: イタリア
設立年	: 2019
会社形態	: 現地法人
使用対象	: 加工食品、乳製品
プロダクト	: <ul style="list-style-type: none"> ▪ Packaging machinery, Wrapping machinery, Shrink wrap machinery, Tray filling and sealing machinery, Pouch packing machinery, Cup forming, Filling and sealing machinery, Carton filling and sealing machines



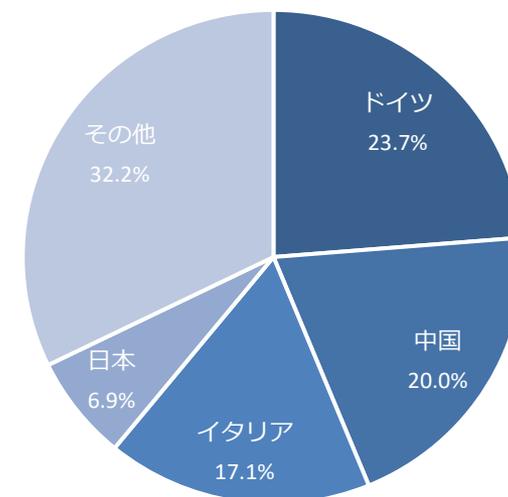
食品包装機械類 輸入関税

輸入データ

HS Code 84223000 機械類 - “Machinery for filling, closing, sealing or labeling bottles, cans, boxes, bags or other containers; machinery for capsuling bottles, jars, tubes, and similar containers; machinery for aerating beverages;”

- 2021-22年度（2021年4月～22年3月）のインドにおけるHSコード84223000の機械類の総輸入額は2億230万ドルであった
- 最大の輸入相手国はドイツで、4,802万ドル、23.7%を占めた
- 輸入相手国第2位は中国で、4,056万ドル、20.0%を占めた
- 輸入相手国第3位はイタリアで、3,467万ドル、17.1%を占めた
- 日本は輸入相手国第4位で、1,389万ドル、6.9%であった。
- 2022年4～11月期の同HSコード製品の輸入額は1億9,090万ドルであった

国別輸入額の割合（2021-22年度）

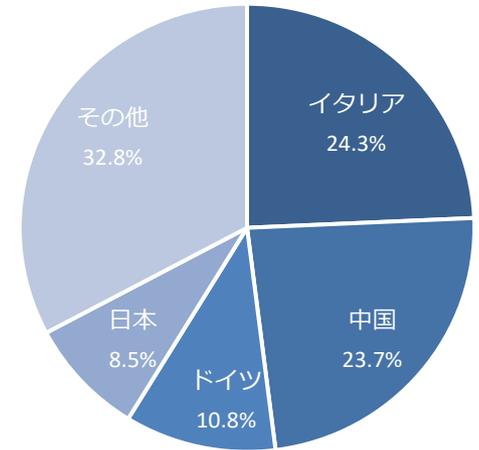


輸入データ

HS Code 84224000 包装機械類- Other packing or wrapping machinery (including heat-shrink wrapping machinery)

- 2021-22年度（2021年4月～22年3月）のインドにおけるHSコード84224000の包装機械の総輸入額は1億2,183万ドルであった
- 最大の輸入相手国はイタリアで、2,961万ドル、24.3%を占めた
- 輸入相手国第2位は中国（第1位とほぼ拮抗）で、2,886万ドル、23.7%を占めた
- 輸入相手国第3位はドイツで、1,312万ドル、10.8%を占めた
- 日本は輸入相手国第4位で1,033万ドル、8%を占めた
- 2022年4～11月の同HSコード製品の輸入額は7,430万ドルであった

国別輸入額の割合(2021-22年度)

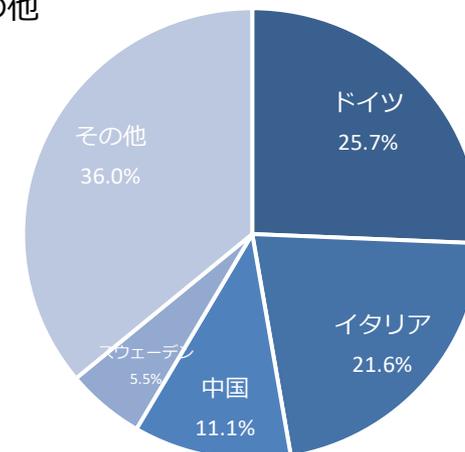


輸入データ

HS Code 84229090 その他機械類 – For Other machinery

国別輸入額の割合(2021-22年度)

- 2021-22年度（2021年4月～22年3月）のインドにおけるHSコード84229090のその他機械類の総輸入額8,004万ドルであった
- 最大の輸入相手国はドイツで、2,053万ドル、25.7%を占めた
- 輸入相手国第2位はイタリアで、1,732万ドル、21.6%を占めた
- 輸入相手国第3位は中国で、891万ドル、11.1%を占めた
- 輸入相手国第4位はスウェーデンで、443万ドル、5.5%を占めた
- 2022年4～11月の同HSコード製品の輸入額は5,050万ドルであった。



日本からの食品包装機械輸入関税

日本とインドの間で締結された包括的経済連携協定(CEPA)により、以下のHSコードは輸入関税が0%となっている。

- **HS Code 84223000** “Machinery for filling, closing, sealing or labeling bottles, cans, boxes, bags or other containers; machinery for capsuling bottles, jars, tubes, and similar containers; machinery for aerating beverages;”
- **HS Code 84224000** “Other packing or wrapping machinery;”
- **HS Code 84229090** “For Other machinery;”

○作成：ジェトロ・ニューデリー事務所

【レポートの利用についての注意・免責事項】

本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）ニューデリー事務所が委託先UJA Global Advisory Pvt. Ltd.に作成委託し、2023年2月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよびUJA Global Advisory Pvt. Ltd.は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよびUJA Global Advisory Pvt. Ltd.が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

【レポートの内容に関するお問い合わせ先】

ジェトロ・ビジネス展開支援課 BDA@jetro.go.jp

(2023年4月1日以降はジェトロ・海外展開支援部戦略企画課個別支援班 ODA@jetro.go.jp)

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、[役立ち度アンケート](#)にご協力頂けましたら幸いです。

(所要時間：約1分)

